県立広島病院広報誌
もみじ
第66号
2014.8.1
発行
県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号
※県立広島病院の様々な情報をホームページへ掲載しています。
県立広島病院 で 検索 （URL：http://www.hph.pref.hiroshima.jp/）
理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

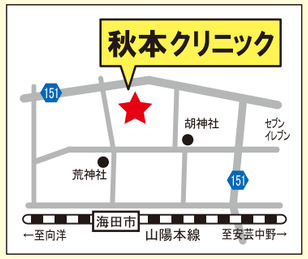
連携医院のご紹介

今回は「相手に寄り添う医療」を心がけておられる秋本クリニックの秋本悦志先生です。

秋本院長

秋本クリニック

〒736-0089
広島県安芸郡海田町稲荷町3-34
電　話／082-823-7777
院　長／秋本　悦志
診療科目／外科・内科・乳腺外科・
在宅療養支援診療所



○開業されてから今までのことについて教えてください。

父が開業した30年前から在宅看取りなど地域に根差した医療を行ってきました。2013年9月に父から継承し、現在は在宅医療に加え、専門である乳がんの診療も行っています。

○毎日の診療で大切にされていることは何ですか。

地域の方が多く、何十年という付き合いになるので患者さんとの信頼関係を最も大切にしています。そのため、診察をおこなって行く中では患者さん本人だけでなく家族も含めてみることを心がけています。また、家族に見守られてご自宅で過ごされるような環境作りをめざし、在宅を支える関係者とも連携し、安心して終末期をみとられるような地域でのネットワーク構築にもつとめています。

○県病院はどんなところですか？

2009年から3年間、県病院の外科の一員として勤務しており、母校のようなところです。現在も、週に1回非常勤として乳がんのお手伝いをさせていただいております。末期がんや高齢の寝たきりの方の在宅診療を行っていますが、緊急時にはいつでも対応してくださる県病院には大変感謝しています。

○地域医療連携ネットワーク（KBネット）についてひと言お願いします。

細かい医師記録も見られるので経過がわかりやすいことや、診療中にゆっくり見ることが出来ないので、見たい時に見られる点がとてもよいです。在宅診療をおこなっていますが、県病院へ紹介した患者さんの治療の状況が医療中に判りやすいこともよいです。

秋本クリニック外観

【取材後記】
在宅に力をいれておられる秋本先生ですが、ご専門の乳がんの診察、県病院での手術と幅広く活躍されています。インタビューにも快く応じてくださり、パワフルなお仕事ぶりに反して、やさしく話かけやすい雰囲気をお持ちの先生です。

県立広島病院からのお知らせ

第3回 脳卒中診療もみじネットの会

- 開催日　平成26年 8月20日(水)
- 時　間　19:00～20:30
- 場　所　中央棟2階 講堂
- 内　容　『虚血性脳血管障害の最新情報』
  ①超急性期血行再建治療の最新　脳神経外科部長/溝上達也
  ②脳血栓症対する抗凝固療法　脳神経内科部長/仲 博満
  ③質問タイム
- 対　象　脳卒中に携わる医療従事者の皆様
- 問合せ先　地域連携センター TEL:082-254-1818 内線（2493）

平成26年度 緩和ケアフォローアップ研修

- 開催日　平成26年 10月19日(日)
- 時　間　9:30～17:00（受付9:00～）
- 場　所　中央棟2階 講堂
- 対　象　次のいずれかの要件を満たす者
  ①厚生労働省認定のがん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会を終了した医師
  ②緩和ケアを積極的に携わっている看護師、薬剤師等、医療従事者
- 定　員　40名
- 申込期間　8月1日(金)～8月31日(日)必着
- 参加費　3,000円（資料代）

平成26年度 緩和ケア看護師研修 基礎コース

- 開催日　平成26年10月6日(月)・7日(火)の2日間
- 時　間　9:00～16:30
- 場　所　新東棟2階 総合研修室
- 対　象　次の要件をすべて満たす者
  ①県内の医療関係機関等に勤務する保健師、助産師、看護師、准看護師
  ②緩和ケアに携わる者、緩和ケアに関わりたいと希望する臨床経験3年以上の者
  ③全過程（2日間）を全て出席できる者
- 定　員　40名　（先着順）
- 申込期間　9月1日(月)～9月15日(月)必着
- 参加費　5,000円（資料代）

問合せ先　緩和ケア支援室（緩和ケア専門研修 担当）
http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gan-net/muki-shien03.html
※詳細はホームページでご確認下さい。

紹介状持参のお願い

初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費の他2,690円のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ち下さい。
※当院では、予約診療を優先して診察しています。予約診療以外で受診されると待ち時間が長くなることがありますので、ご了承下さい。

KBネット

現在の参加医療機関（7月18日現在）
182 機関
問合せ先　地域連携センター
電話(082)252-6228(直通)

勇気を出して助ける命

院内に設置してあるAEDと院内で実施しているAED講習

心臓が止まった際に、電気ショックを与えて元に戻す医療機器**AED**。いざという時に使えない人が多いようです。**AED** はフタをあけたり、電源ボタンを押すと音声の指示が始まります。電気ショックが必要かは**AED**が判断します。誰かが突然倒れた場合は、迷わず使うことが大切です。

救助方法 救急車が到着するまで

1 反応を確認する

傷病者の耳元で「大丈夫ですか」「もしもし」と大声で呼びかけながら、肩を軽くたたき、反応があるか確認します。

ポイント　反応があれば、傷病者の訴えを聞き応急手当を行います。

2 助けを呼ぶ

反応がなければ大きな声で「誰か来て」「人が倒れています」と助けを求めます。
周りの人に119番通報とAEDを要求します。

ポイント　大きな声で人を集める。119番へ通報する。

3 心臓マッサージ

ただちに心臓マッサージ（胸骨圧迫）を開始し、全身に血液を送ります。

ポイント　1分間に100回以上の早いテンポで連続して圧迫します。周りに人がいる場合は、2分間を目安に交代し、絶え間なく続けます。

4 AEDの使用

AEDが届いたらすぐAEDを傷病者の横に置き、ケースから本体を取り出し、電源を入れます。
以降は音声メッセージに従い操作します。

ポイント　傷病者の衣服は取り除き、胸をはだけます。電源パッドを貼ります。（位置は絵で表示されています）自動的に心電図の解析が始まりますので、「皆さん、離れて」と注意を促します。電気ショックが必要とメッセージが流れたら、ショックボタンを押します。

5 心臓マッサージ

電気ショックが完了すると、「胸骨マッサージ開始」のメッセージが流れますので、ただちに心臓マッサージを再開します。

ポイント　AEDによる心電図の解析や電気ショック時以外は心臓マッサージを絶え間なく続けることが大切です。

突然誰かが倒れたら
迷わずAEDの使用を！
貴方の勇気で助かる
命があるのです！

救命救急センター長 山野上 敬夫

私のこだわり 其の二

皮膚科部長　森本　謙一

はじめまして。皮膚科の森本です。
2014年3月から当院の皮膚科部長として赴任しました。医師になって2～4年目の駆け出しの時期に、県病院で研修（先輩からのシゴキとも言う）を受け、15年ぶりに帰ってきました。偉大なる先輩ドクターが使っていた診察室に座り、自分が仕事をすることになるとは、何とも感慨深いものがあります。しかしひとたび診察を始めると、一人感傷に浸っている場合ではありません。赴任当初、外来患者さんがとても多く、面食らってしまいました。

皮膚科の主な診療

「皮膚科は外来メインの科」というイメージがありますが、本当にそうなのでしょうか？まずは皮膚科の仕事について簡単にご紹介します。

皮膚科と聞いてまず思いつくのは、湿疹、カブレ、虫ささされ、水虫などでしょうか。アトピー性皮膚炎や蕁麻疹なども馴染みがあるでしょう。イボやケガ、ヤケドもあります。これらの病気の患者さんはとてもたくさんいらっしゃいますが、その他にもさまざまな病気があります。

重症の熱傷や外傷、皮膚の良性腫瘍や皮膚がんで手術が必要な患者さん、膠原病や自己免疫性水疱症、重症の薬疹などで入院治療が必要な患者さんも、実は想像以上に多くいらっしゃいます。また最近では、内臓のがんに対し、効果の高い抗がん剤（分子標的薬）が使われるようになってきていますが、これらの多くは高率に皮膚症状がでるので、がん治療中の患者さんのサポートも皮膚科の出番です。総合病院の皮膚科では、主にこのような重症度の高い患者さんを診療しています。

私のこだわり

「私のこだわり」ですが、それは「地域連携」です。上述しましたように皮膚の病気は実に多種多様で、患者さんの数もとても多いのです。これらすべてを総合病院の皮膚科でカバーできるはずがありません。地域の皮膚科専門クリニックの先生や、かかりつけ医の先生とネットワークを組まなければ、地域全体の医療体制を守ることはできないでしょう。

総合病院の皮膚科は、総合病院でしか出来ないことをメインにやります。具体的には入院治療、手術、皮膚がんの治療です。近隣クリニックで診断や治療に困っている患者さんを診察し、さまざまな検査を行うことも私達の仕事です。また薬疹や点滴漏れなど、他の診療科で治療中の患者さんの皮膚トラブルにも対応します。湿疹や水虫などの皮膚病も対応は可能ですが、よくある皮膚病については皮膚科専門クリニックと診療内容が同じです（むしろクリニックの先生のほうが腕が良かったりします）し、自宅や学校、勤務先や買い物先に近いところで治療できたほうが患者さんにとっても都合がよいでしょう。

ありがたいことに、広島市内および周辺のほとんどの皮膚科専門クリニックの先生には、普段から大変お世話になっており、電話1本でお話しできる関係にあります。症状が落ちついた患者さんを快く引き受けていただけますし、検査や手術、入院が必要な時は症状の緊急度に応じて県病院へ予約、あるいは直接電話連絡していただいています。県病院ではクリニックの先生からの紹介に対し、できるだけ迅速かつ丁寧に対応するよう心がけています。

地域と次代への繋がり

このようにして広島市内および周辺の先生方との連携を密にして、ネットワークで地域全体を守ること、これこそが私のこだわりである「地域連携」です。すべての患者さんが適切な場所で適切な医療を受けることができるために。そして将来、私達の子供や孫たちが適切な医療を受け続けることができるようにするためなのです。

外科医の独り言 no.35

ー ポッコリお腹の呪い ー

前回のぽっちゃりの話が中途半端に終わり、その続きは次回で、ということにしていました。ちゃんと最後の落ちまで考えていたので、そのあとすぐに続きの原稿を書けばよかったのですが、なかなか忙しくてついつい原稿を書きそびれ、結局何を書こうと思ったのか忘れてしまい、今締め切り間近になり焦っているところです。やはり、書ける時に書いておかないといけませんね。それと、先月号から隣のページに“わたしのこだわり”という新企画が始まりました。それに負けないようにしないと…(^o^;

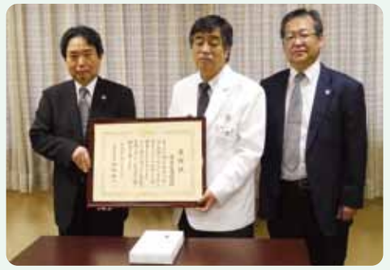
話は私の減量の話でしたね。私も50代半ばになり、そろそろ色々な病気が出てくる年にさしかかりました。今まで多くの患者さんのお腹の手術をさせて頂きましたが、いつ自分が患者さんになるかもしれません。外科医にとってたっぷりの脂肪“あぶら”は難敵です。厚い皮下脂肪はまだしも、お腹の中のいわゆる内臓脂肪には苦労させられることが良くあります。女性のぽっちゃりの多くは皮下脂肪が原因ですが、中年男性のポッコリお腹は内臓脂肪です。これは外科医泣かせです。同じ手術であっても“ポッコリ”の人は“やせ”の人に比べて時間がかかり、出血量も多くなることがあります。特にがんの手術ではリンパ節も取らなければなりません。脂のなかにリンパ節があるので大量の脂と一緒に取らなければなりません。血管も脂の中を走っています。脂まみれの手術で手袋も滑ります。外科医の苦労は痩せた人の倍?いや場合によってはそれ以上かもしれません。でも何故かポッコリの人の手術も痩せた人の手術も同じ手術なら一律料金です。ポッコリ割増はありません。おまけに腹腔鏡手術となると脂肪の海の中での手術になりますから、手術前に「痩せてください」と患者さんにお願いしている内視鏡外科医もいます。もちろんポッコリお腹だから手術はしません、とは言えませんが、心の中では頭を抱えている外科医がいるかもしれません。ポッコリの程度にもよりますが、私自身は外科医としてぽっこりお腹をあまり気にしない方だと思いますが、私が病気になった時に自分で手術をするわけにはいきません。たぶん後輩に手術をしてもらうことになると思いますが、その時に「このポッコリお腹はかなわんなあ」と後輩に思われるのが嫌なのです。

ということでポッコリお腹解消作戦を実行しているわけですが、なかなか思ったようにいきません。人目を気にして意識的にお腹をひっこめるのは簡単ですが、全身麻酔下ではポッコリがばれてしまいます。病院ではエレベーターを使わずに必死に階段を上がるのですがやはり力尽きてエレベーターに乗ってしまうのです。自宅では妻の失笑を横目に腹筋運動に励むのですが、それでなくとも疲れて帰ってから腹筋をするのはまさに苦行です。食事も家では野菜中心でヘルシーなのですが、外食するとビールの量も増えて引っ込みかけたお腹がまたポッコリ。今はポッコリお腹でも喜んで手術をしてくれる後輩を探すことを真剣に考えています。

院長補佐（消化器･乳腺･移植外科主任部長）
板本敏行（いたもと　としゆき）

法務大臣の感謝状を受けました！！

当院が平成4年頃から現在まで20年以上の永きにわたり、広島刑務所からの救急の患者さん、専門治療が必要な患者さんの受け入れ要請に応じ、献身的な治療を続けてきたことに対し、平成26年7月16日に法務大臣の感謝状を受けました。



広島刑務所の久保所長から桑原院長へ感謝状が伝達されました。

「今回の感謝状を励みに、県民から愛され信頼される病院として今後も貢献してまいります。（桑原）